

「SPIS」は、本人が心身コンディションの自己評価と伝えたい事からや気持ちのコメントを記録し、それを関係者と共有し、対話する Web 日報システムです。就労支援や障害者雇用の現場でよく使われる紙媒体の日報と最大の違いは、支援機関や関係機関、職場の担当者など複数の関係者が、離れた場所でもリアルタイムで本人の発信を共有できることと、紙媒体の記録より遥かに容易かつ効果的に蓄積された記録を活用できることです。このセミナーでは、高い個別性が求められる支援の質の向上に Web システムがどのように役立つか、現場実践からの報告を行います。

2024年11月22日(金) 13:30~16:30 (13:00 受付開始)

会場：郡山商工会議所 4-2 会議室

定員：30名 参加費：無料

対象：就労支援機関、医療機関、行政機関、  
精神障害者（発達障害者含む）を雇用 または 雇用を検討する企業

プログラム (プログラムの内容は変更される場合があります)

時間	プログラム	
	受付開始(13:00 ~ )	
13:30-14:20 (50分)	開会あいさつ システム解説	<b>Web 日報システム SPIS とは</b> NPO法人 全国精神保健職親会 主任コンサルタント 三原 卓司
	小休憩(10分)	
14:30-15:25 (55分)	事例報告1	<b>就労支援機関として、そして職場として</b> 社会福祉法人ほっと福祉記念会 県中地域障害者就業・生活支援センター ふっとわーく 就業・生活支援ワーカー 佐久間 歩美 (当事者職員として) センター長 木村 美和 (職場管理者として) <b>コメンテーター</b> 社会福祉法人福音会 ワークセンター麦 副園長 橋本 芳武 (外部支援員として) 一般社団法人 SPIS 研究所 所長 橋倉 正 (スーパーバイザーとして)
15:25-15:55 (30分)	事例報告2	<b>SPIS を活用した就労定着支援</b> 社会福祉法人福音会 ワークセンター麦 副園長 橋本 芳武 (定着支援担当として) 笠原工業株式会社 労務部 部長 石井 政美 (雇用事業者担当として)
	小休憩(5分)	
16:00-16:25 (25分)	質疑応答・意見交換	<b>SPIS の実際の運用、素朴な疑問など に お願いします</b> その他 就労支援ツールの活用法についても自由に意見交換しましょう。 <b>パネリスト</b> 事例報告 登壇者 <b>進行</b> NPO 法人全国精神保健職親会 主任コンサルタント 三原 卓司
16:25-16:30	開会あいさつ	一般社団法人 福島就業支援ネットワーク 理事 伊東 久美子

# 会場案内

## 郡山商工会議所 4-2 会議室

住所:福島県郡山市清水台 1-3-8

- ・JR 郡山駅西口 徒歩 800m
- ・近隣駐車場あり



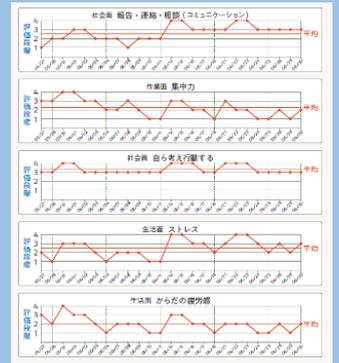
# SPiS

## 精神・発達障害者の就労継続支援雇用管理サポートシステム

「不調の兆候のキャッチ」「タイミングを捉えた適切な配慮」「支援機関との情報共有・連携」



SPiS は精神障害・発達障害に特化した就労移行支援事業を展開する JSN が訓練記録用に平成 21 年から使用していたシステムを基に、有限会社奥進システムの協力の下で企業の方にも使いやすいよう改良を加え、平成 23 年に開発された就労定着支援システムです。



## 参加申込方法

参加申込期限:2024年11月18(月)12時

- 参加申込先 URL

<https://forms.gle/N7mp74a8rz2Sw9zm7>

QRコード



【主催】:NPO 法人 全国精神保健職親会(vfoster)

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-3-4 新大阪高光ビル 802

TEL:06-6307-1616 Mail:event@vfoster.org(イベント問合せ専用)



【共催】:一般社団法人 福島就業支援ネットワーク



本事業は公益財団法人 JKA から  
競輪公益資金の提供を受けて実施されます